

4月度 最新情報

ちくさ病院通信

第54号
発行元
ちくさ病院
在宅医療推進部



マンガで読む訪問看護ステーション

ここ数年で高齢者の方々の在宅療養というのがより身近になってきました。その背景には超高齢化社会という社会構造の変化とそれに対する国の取り組みがあります。少しだけ具体的なお話をすると日本では16年後の2040年には今よりも年間死亡者が40万人程度増加すると推測されています。現状は病院で死亡される方が大部分ですが、制度上病院のベッド数はこれ以上増やせません。今まで通りに病院で死亡される方ばかりではまかないきれなくなりますね。ではどうすれば良いのか。この増加する死亡者の受け皿は在宅か施設しかありません。病院外での看取りを増やさざるを得ないのです。そのため国がご自宅での看取りを推進しており、在宅医療などのご自宅看取りのために必要な資源を強化するための動きが取られています。そういったご自宅での療養を支えるための資源の一つに「訪問看護」というものがあります。看護が必要な患者様のお住まいに看護師が直接訪問するというサービスです。医療や介護に関わる人にはかなり身近な存在になってきましたが、一般の方にはまだまだ認知度が低いサービスです。

具体的にどんなサービスを提供しているのか。どうやって患者様のサポートを行っているのか気になった方はぜひ今回ご紹介している訪問看護ステーションを題材にした漫画を読んでみてください(※訪問看護ステーションは訪問看護師さんが在籍している事業所です。)

「おうちで死にたい～自然で穏やかな最後の日々～」

こちらの作品は全1～5巻(秋田書店)。

作者の広田奈都子さんはなんと漫画家と看護師という二つの顔を持っています。社会勉強のためと思って間g氏の仕事をしてみたらその魅力にはまってそのまま看護師を続けているとのこと。さらに仕事を通じて知ったエピソードなどをもとに描いたマンガで看護師の世界を伝えることもしている。

<以下、ストーリー「マンガボックス」より引用>

「あなたの余命は、残りわずかです」。そう言われた人々の、ささやかな願い。「最後はおうちで死にたい」。だけど家族は、介護で疲れ果ててしまうかもしれない。できれば病院で死んでほしいと思うかもしれない。患者の病状より、お金のほうが心配かもしれない。そんな患者や、家で看取ると決めた家族に寄り添う「訪問看護師」が、それぞれの「理想の看取り」を探してゆく…。

「ナースのチカラ～私たちにできること訪問看護物語～」

こちらの作品は先ほどの「おうちで死にたい」の続編。現在は1～8巻まで発行されています。

作者はもちろん広田奈都美さん。2020年4月に単行本第1巻が発売されました。

<以下、ストーリー>

義母の介護をきっかけに50歳にして看護師になった幸代。選んだのは訪問看護の現場で…!? 現役看護師のマンガ家が描く命と看取りの物語「おうちで死にたい～自然で穏やかな最後の日々～」の新章スタート!!

「おとずれナース～精神科訪問看護とこころの記録～」

<以下、ストーリー>

訪問看護サービスの中には、精神科患者を対象にしたものもある。訪問看護師の小林は、精神科病棟に勤務していた時、忙しさを話さなかった患者が自殺未遂を起こしたことで、もっと患者と向き合いたいと、訪問看護の世界に飛び込んだ。うつ病、統合失調症、双極性障害…彼女は、今日もさまざまな疾患をもつ患者のもとを訪れるのだった。

もしも犬に噛まれたら…??

噛まれた時の応急処置はどうしたら良いの??

もしも噛まれてしまったら、すぐに噛まれた箇所を流水で洗い流すようにしましょう。犬に噛まれた傷はかなり汚染された傷になるため、感染症を防がなければなりません。まずは、傷口を5分以上流水で洗い流すようにしましょう。また、ハンドソープや石鹸は破傷風やウィルスを死滅させるので、使用したほうがベターです。綺麗に洗い流したあとは、傷口に清潔なガーゼやハンカチを当て、10分間程度圧迫し、止血しましょう。

病院には受診したほうが良い??

受診はしたほうが良いのか。まず、出血を伴った場合は必ず病院受診をするようにしましょう。また、見た目には出血がない状態であっても、感染症のリスクはあります。傷口が腫れてくるようであれば、やはり受診するようにしてください。もしも動脈から出血している状態(真っ赤な血がドクドクと勢よく出てくるような状態)であれば、急いで病院に受診をしてください。診療科としては、外科もしくは皮膚科に受診するのが良いでしょう。救急外来でも対応してくれます。受診の前に一本電話を入れ、犬に噛まれて受診するということを予め伝えておくともスムーズです。

春は「春バテ」に要注意!?

春バテは、春になると体がだるくなったり、疲れやすくなったりする症状のことを指します。日本では春になると、気温の変化や花粉の飛散などの影響で、体調が崩れやすいとされています。

主な症状としては、次のようなものが挙げられます:

- ・疲れやすい
- ・だるさや倦怠感
- ・頭痛
- ・睡眠障害(眠れない、眠りが浅い)
- ・食欲不振
- ・鼻水、くしゃみ、目のかゆみ(花粉症の場合)

これらの症状は、春の気候の変化や花粉によるアレルギー反応などが原因とされています。

一般的に、春になると体温調節が難しくなり、寒暖差が大きい日が続くこともあります。また、冬の間蓄積された疲れやストレスが春になって一気に表面化することもあります。さらに、花粉症の方にとっては、春は花粉が飛散する季節であり、鼻水やくしゃみ、目のかゆみなどの症状が増えることも春バテの要因となります。

春バテを予防するためには、以下のような対策が有効です。

- ・十分な睡眠・適度な運動・バランスの取れた食事を心がける
- ・ストレスを溜めないようにする
- ・花粉症の方はマスクや眼鏡を着用するなどの対策をする
- ・心地よい温度と湿度の部屋に過ごす
- ・適度な休息を取る

ただし、症状が重い場合や続く場合は、医師の診察を受けることが重要です。特に花粉症の方は、専門的な治療を受けることで症状の軽減が期待できます。春バテは、日本独特の現象として広く認知されており、春になるとメディアなどでも取り上げられることがあります。日本ではちょっとした言い訳やユーモアとして「春バテで休む」という言葉が使われることもありますね。

クチコミにも注目!



多くのクリニックがある中で、「どこのクリニックを選んだらよいかわからない」そんなお悩みはないですか。そんなときは一度、当院のクチコミをチェックしてみてください。実際にご利用いただいている連携ケアマネージャーさまからのお声を掲載しております。医療機関を選ぶ際の参考にさせていただければ幸いです。

Googleマップから「在宅医療 ちくさ病院」で検索!



在宅医療 ちくさ病院
4.7 ★★★★★ (47)
在宅医療サービス

ふじもとくみこ
1件のクチコミ

★★★★★ 5か月前

訪問診療でいつもお世話になっています。利用者さんや別居のご家族にも、わかりやすい対応をしていただき、感謝しています。障害の手帳書き換えに向けてもご尽力いただき大変助かりました。

在宅医療のちくさ病院のクチコミはコチラ↓



ちくさ病院公式Instagram登録はこちら★

ちくさ病院公式LINE登録はこちら★



Instagram

- ① 2次元コードで追加
- ② IDを検索して追加



@781tmhqd

医療法人 豊隆会 ちくさ病院
在宅医療推進部 TEL: 052-741-5347